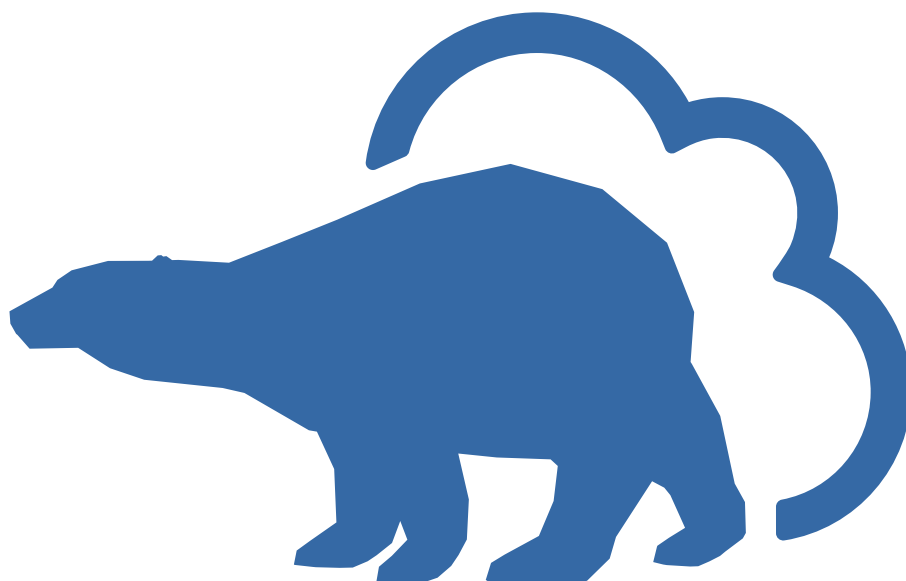


これからのITインフラは、仮想と物理のメリットをあわせもつ、ベアメタルクラウドを。



リンクベアメタルクラウド

デザインパターン

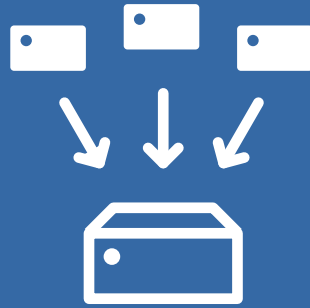


はじめに

これまでお客様から「どう活用すれば良いの?」という意見を多数
いただけてきました。

そこで、こちらの資料では、少しでも利用イメージを持っていただける
ようにする為、過去の事例をもとに、リンクベアメタルクラウドの「**デ
ザインパターン**」の一部をご紹介します。

1	デザインパターン 1 集約 某ゲーム会社様①	P.03
2	デザインパターン 2 移行 某ゲーム会社様②	P.08
3	デザインパターン 3 拠点間VPN 某開発会社様	P.13
4	デザインパターン 4 カスタマイズ	P.17



デザインパターン 1

集約

お客様 某ゲーム会社様 ①

要件

パブリッククラウドだと他社の影響を受け、スペック通りの性能が得られない。そのため、既存環境で他社プライベートクラウドを利用しているが、サービス側の制約などがあり、サーバの拡張・削減が柔軟に出来ない。また、サーバ台数も多いためインフラの運用管理に時間が取られている。

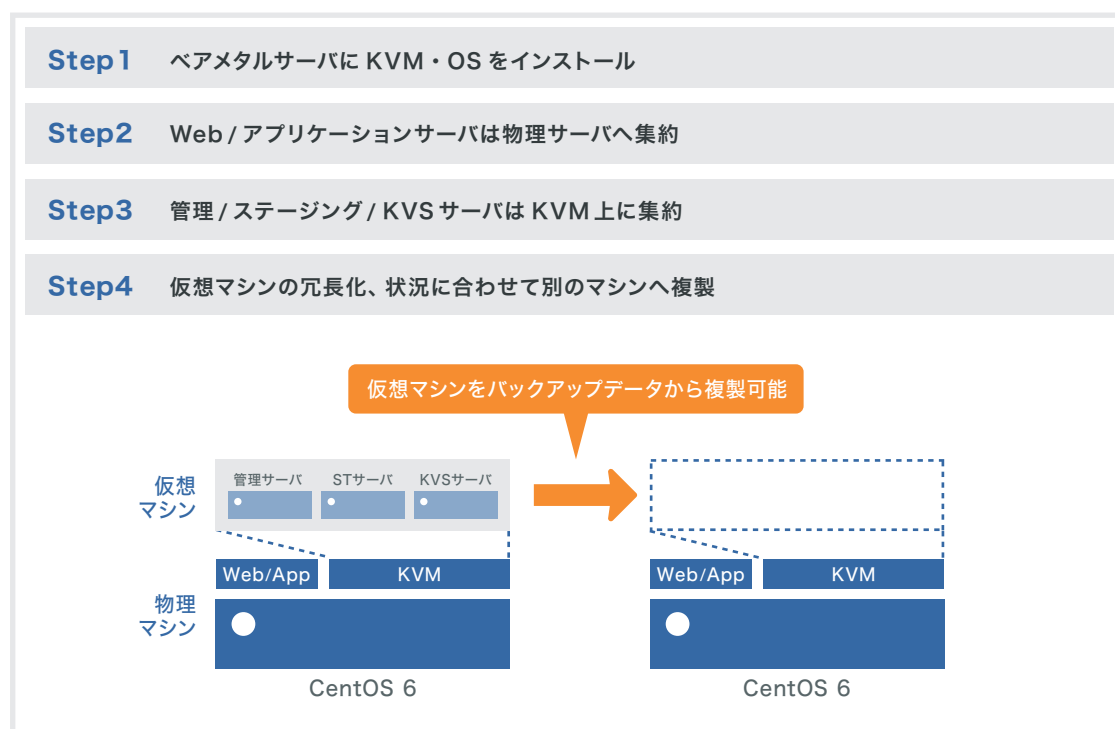
以上の理由から、サービスの稼働状況に合わせて、柔軟にサーバ台数の増減が可能であること、さらに、インフラの運用負荷とコストの削減を要件としてあげられていました。

💡 ソリューションパターン

これらの要件に対し、ベアメタル型アプリプラットフォームの環境でなら他社とリソースを共有しない物理サーバを利用しながら「フロントサーバの集約」「DBサーバの集約」をすることによって満たすことができます。

フロントサーバの集約

Web / アプリケーション / 管理 / ステージングサーバの集約方法は以下の通りです。

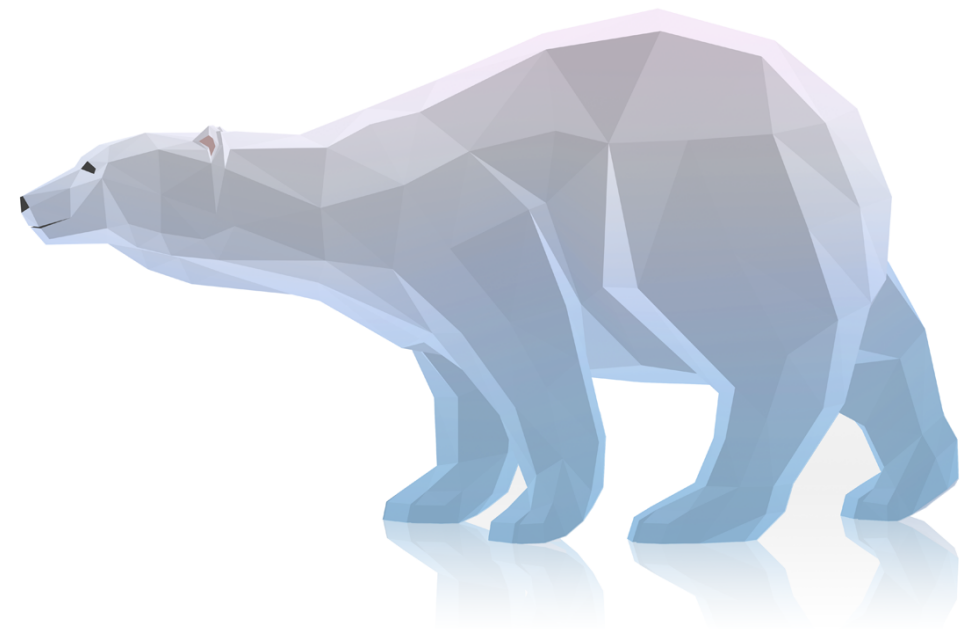


次のページへ続く





— 物理サーバのプロフェッショナル —



LINK, INC.

Dec. 2016 / Ver. 7.0.0

物理サーバをオンデマンド利用

コントロールパネルから物理サーバを作成・複製・削除。従来難しかった**物理サーバのクラウド化を実現**しています。

物理サーバのメリットは仮想サーバとの性能差に加えて**パフォーマンスが安定していること**。また、仮想化基盤等のオーバーヘッドもありませんので、**ハードウェア性能を100%引き出すことができます**。

物理サーバ＝ハードウェア専用型のため、パブリッククラウドをはじめとする**共用環境に置くことが難しいデータ類もクラウド化しやすくなります**。

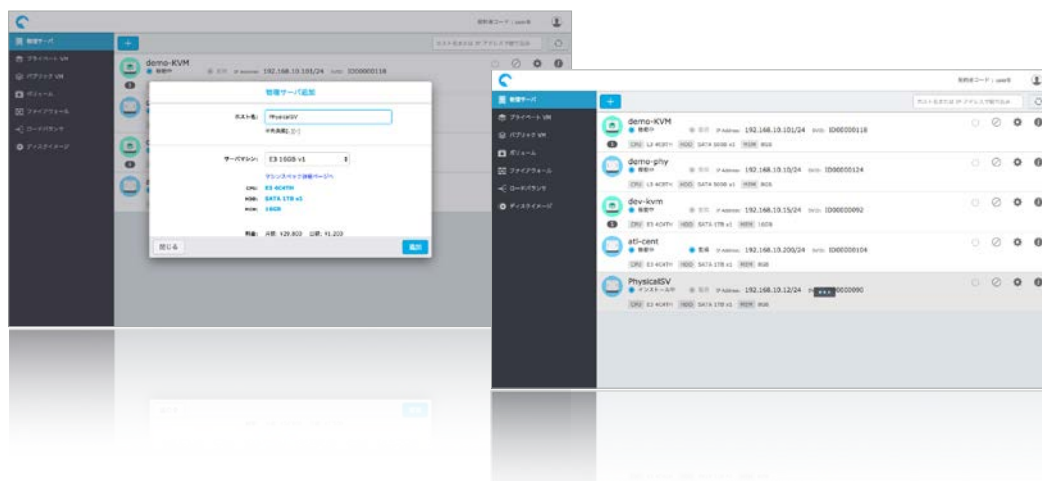
✓ 専有物理サーバ

✓ オンデマンド

✓ オーバーヘッドなし

✓ 初期費用不要

✓ 30分で利用開始



営業担当制とエンジニアによる24/365の「電話・メールサポート」

相談できる、あなたのためのプロフェッショナルがいます。

当サービスは、**お客さまごとに必ず担当の営業が付く「営業担当制」**。導入時だけでなく、運用開始後のご相談も直接担当営業にご連絡ください。**我々はちょっとした相談が気軽にできることはとても大切なことだと考えています。**

担当営業は**サービス・技術に精通した技術営業スタッフとペアで動いています**。クリアしなければならない課題が多い大規模構成や新しい技術を使う場合などについても遠慮なくご相談ください。

また、実際の運用シーンでは、問題が生じた際に迅速な対応ができるサポート体制も重要です。そう考える私たちは、**24時間365日、深夜でも休日でも、メール・電話でのサポートを、エンジニアがもちろん日本語で行っています。**



技術者による24時間365日のサポート

拡張監視サービス

通知代行サービス

通知代行サービス
Gold

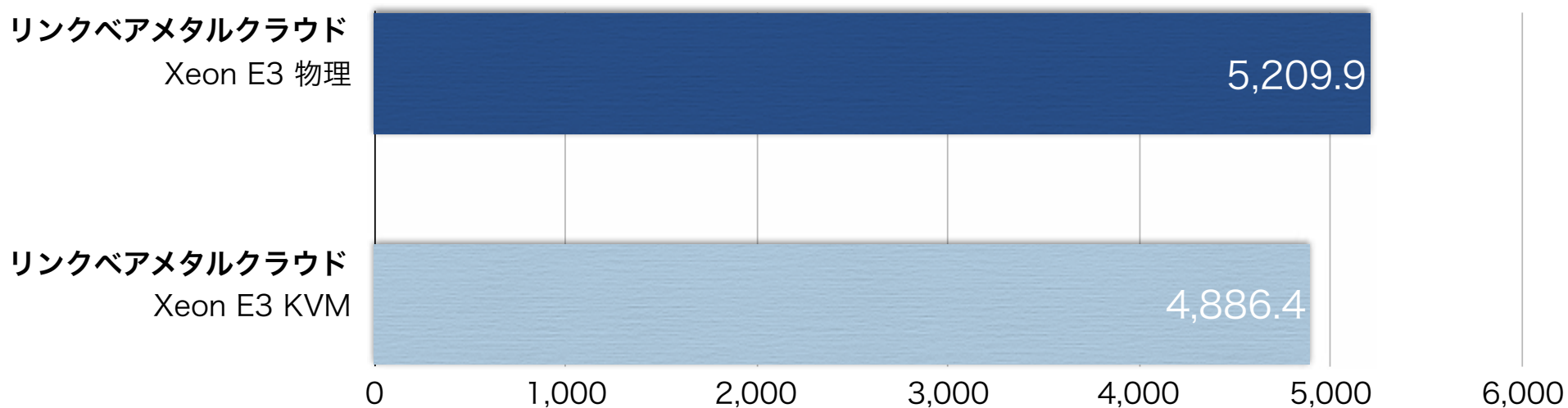
復旧アシスト
サービス

運用アシスト
サービス

拡張技術支援
サービス

構築支援サービス

【物理サーバ】 と 【KVM上に構築した仮想サーバ】 のUnixBenchの結果を比較



6.2%の性能低下

出典：技術評論社 gihyo.jp